

# 平成25年度 特別会計決算報告

※特別会計とは…特定の収入を財源として行われるもので、一般会計とは区分して経理する会計

国民健康保険事業、後期高齢者医療、介護保険事業を合わせた歳出決算額は、合計72億410万円で前年度に比べ約401万円減となっています。

また、下水道事業の歳出決算額は、14億9,368万円で、前年度に比べ6,685万円増となっています。

特別会計名	概要	歳入決算額	歳出決算額	前年度比較
国民健康保険事業	国民健康保険に加入している方が、万一の病気やケガの場合に医療機関にかかるときの医療費の補助などを支援する事業	42億9,008万円	40億3,701万円	↓
後期高齢者医療	75歳以上の高齢者と65歳～74歳までで一定の障がいのある方が安心して医療を受けられるように支援する事業	7億1,266万円	6億9,635万円	↑
介護保険事業	介護を社会全体で支え、必要な方に介護サービスを提供し、全ての高齢者の方に介護予防や生活支援を行う事業	25億3,675万円	24億7,074万円	↑
下水道事業	川や海が大雨による浸水や汚水により汚れることなどから守るための下水道を整備する事業	15億6,209万円	14億9,368万円	↑

## ●国民健康保険事業

歳入は主に保険給付費の減少による国庫負担金や療養給付費交付金の減、歳出は75歳到達者が後期高齢者医療制度に移行したことによる保険給付費の減となっています。被保険者数は前年度より98人少ない9,783人で、1人あたりの給付費は前年度より5,910円少ない26万4,392円で、歳入に占める保険料の割合は21.2%でした。

## ●後期高齢者医療

歳入は主に被保険者数の増加による保険料の増、歳出は後期高齢者医療広域連合への納付金の増となっています。被保険者数は前年度より142人多い4,516人で、歳入に占める保険料の割合は52.0%でした。

## ●介護保険事業

歳入は主に第1号被保険者数が増加したことによる保険料の増、歳出は主に介護サービス利用件数が増加したことによる保険給付費の増となっています。被保険者数は前年度より410人多い9,970人で、要支援・要介護認定者数は1,652人でした。また、歳入に占める保険料の割合は21.4%でした。

## ●下水道事業

歳入は主に供用開始面積の拡大による受益者負担金の増、歳出は平成24年度の町債繰上償還により公債費が減っていますが、建設工事の増により事業費が増となっています。平成25年度末現在の公共下水道の普及率は67.4%、接続率は75.6%となっています。

## 町の一般会計を家計簿にたとえると ～1世帯の年収を500万円とした場合～

収入			支出		
区分	決算	構成比	区分	決算	構成比
給料(町税)	258万円	51.6%	生活費(人件費・物件費)	182万円	37.8%
親からなどの援助 (交付税、交付金、国県補助金)	140万円	28.0%	子どもへの仕送り(繰入金)	85万円	17.6%
家賃収入(財産収入等)	25万円	5.0%	ローン返済(公債費)	39万円	8.1%
借入金(町債)	42万円	8.4%	家の増改築など(普通建設事業費)	53万円	11.0%
貯金の取り崩し(繰入金)	18万円	3.6%	医療費・学費(扶助費)	71万円	14.7%
その他(繰越金など)	17万円	3.4%	貯金(積立金)	21万円	4.4%
合計	500万円	100%	税金・交際費・投資など(補助費など)	31万円	6.4%
			合計	482万円	100%